

4月13日プログラム・登壇者紹介

パリ協定10周年特別セッション

「パリ協定10周年を振り返る」(録画)

3月のパリトレーニングで行う特別セッション「パリ協定10年の振り返り」を日本語で提供します(録画)。アル・ゴア元米国副大統領のモデレーションのもと、クリスティアナ・フィゲレス氏と共に2015年の歴史的合意を主導したキーパーソンとして、これまでの進展と今後の課題について語ります。

登壇者プロフィール

クリスティアナ・フィゲレス氏 (元UNFCCC事務局長)

2010年から2016年まで国連気候変動枠組条約(UNFCCC)事務局長を務め、パリ協定の実現を主導しました。各国政府や企業、市民団体を結集させ、195カ国が地球温暖化を1.5~2°C以下に抑える道筋を決定。この功績により、協調型外交の新たなモデルを築いたと評価されています。現在も気候変動対策の最前線で活動し、「The Future We Choose」の共著や、人気ポッドキャスト「Outrage and Optimism」の共同ホストとして発信を続けています。また、アースショット賞の議長として環境イノベーションを推進しています。



ローランス・トゥビアナ氏 (欧州気候基金 CEO)

欧州気候基金(ECF)のCEOを務めるとともに、パリ政治学院(Sciences Po)およびエコール・ノルマル・シュペリール(ENS)の教授としても活躍しています。さらに、フランスの気候変動大使兼COP21特別代表として、パリ協定の主要な立案者の一人として重要な役割を果たしました。COP21後は、COP22までの間に国連のハイレベル気候行動チャンピオンに任命され、気候アクションの推進に尽力しました。

